

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

北海道 美唄市

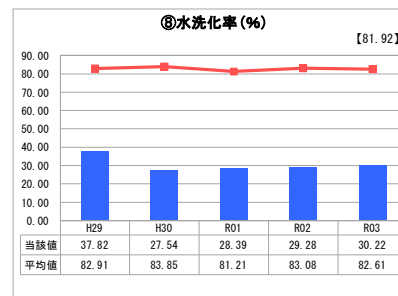
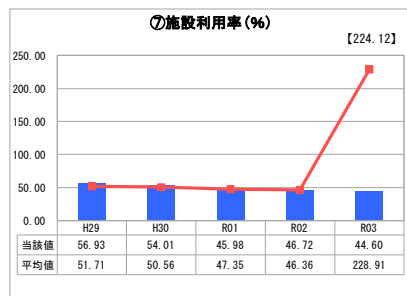
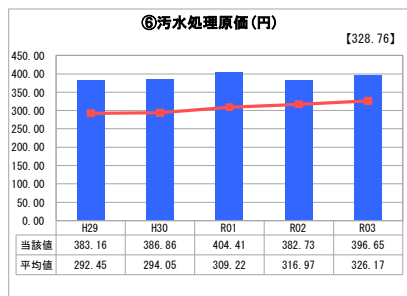
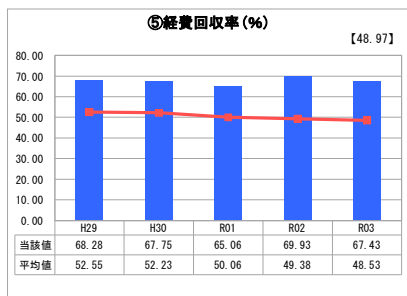
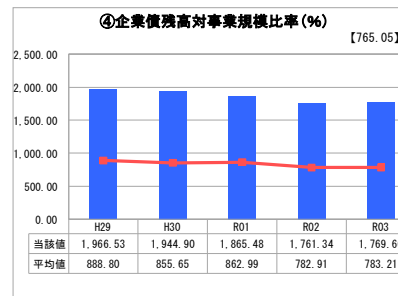
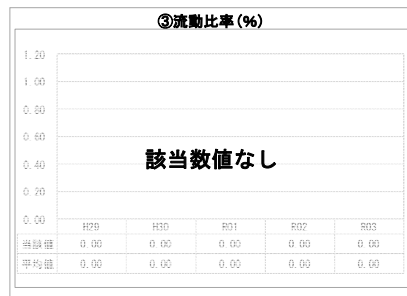
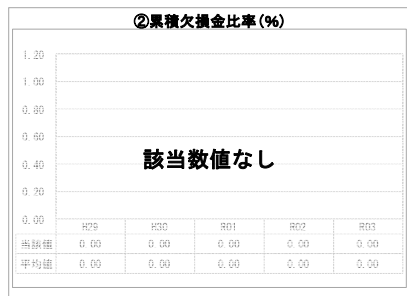
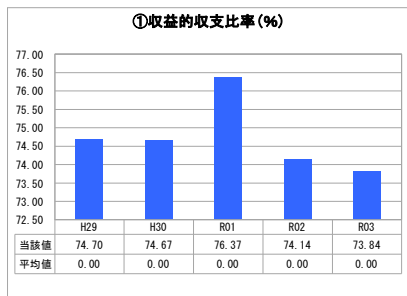
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>※</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	15.75	100.00	4,998

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,001	277.69	72.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,120	264.39	11.80

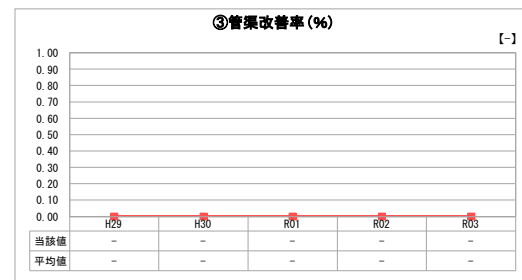
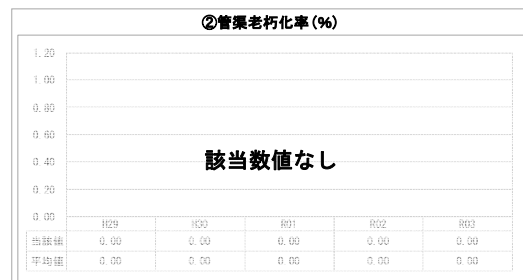
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

美唄市の個別排水処理施設の、「①収益的収支比率」が100%未満であるため、不足分は一般会計からの繰入金で賄われています。

「⑤経費回収率」は、類似団体平均値よりも高くなっていますが、これは、資本費への投資が低い状況で、公共下水道と同じ料金体系に設定しているためです。この状況でも、「④企業債残高対事業規模比率」は、類似団体よりも高い状況にあります。

また、「⑥汚水処理原価」は汚水処理費の増加により、高く推移しています。

「⑦施設利用率」は前年度と比べるとわずかに減少しました。

「⑧水洗化率」については、30.22%と類似団体よりも低くなっております。

### 2. 老朽化の状況について

分析数値なし。

## 全体総括

美唄市の個別排水処理施設整備事業は、平成13年から供用を開始し、令和3年度末で380世帯の普及となっております。近年は急速な人口減により収益率の減少や汚水処理原価の高騰が見られていることから、個別排水処理施設整備の見直しを図り、適正な水準に移行する必要があります。

また、経営の健全性を確保するとともに、経営基盤の強化と適切な資産管理を図るため、令和5年度から、地方公営企業法の適用をします。令和2年度から令和4年度を移行準備期間とし、下水道事業の会計方式を「官公庁会計方式」から「公営企業会計方式」へ移行します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。